

平成21年度 運営目標の中間達成状況(10月末時点)

部 局 名	運営 目標数	進 捗 状 況				「C: 過半が未着手・遅滞」の状況にある運営目標とその要因・対応等
		A	B	B'	C	
		目標達成	順調に進捗	概ね順調(一部未着手・遅滞あり)	過半が未着手・遅滞	
知 事 室 長	28	1	23	2	2	・府メールマガジンの充実(「サンガコーナー」を6月から追加するなど内容充実するも、登録者数が微増に留まっている。→府イベント等でのチラシ配布や大学等でのPR活動にさらに努める。)・部局長等による記者レクの拡充(報道機関を通して府施策を府民にお知らせするため、積極的な記者レクを奨励)
職 員 長	25		24	1		
会 計 管 理 者	3		3			
総 務 部	34	1	30	1	2	・競輪事業の利益確保(売上確保に向けた様々な取組を進めているが、公営競技離れや景気下降を受け、全国的に売上が減少→全体売上の6割を占める記念レース(平安賞:1/30~2/2)の開催成功に向け全力を挙げて取り組むとともに、一方で更なる経費節減により収益確保に努める。)・庁舎及び敷地等の有効活用(行催事への庁舎等の貸付等事業に関する府民の認知度が低いため、更にPRに努めるとともに、今後は結婚式の利用等についても展開を図っていきたい。)
政 策 企 画 部	33	2	29	1	1	・関西広域連合(仮称)等の広域連携推進(他府県との具体事業に関する協議に時間を要しており、府議会への説明や府民理解の促進が十分進められていない。→早期に具体的な事業・メリット等を示し、連合設立に取り組む。)
府 民 生 活 部	49	1	35	9	4	・非行防止と社会環境浄化対策(①携帯電話フィルタリング普及調査→予定していた国事業が執行停止となり、携帯事業者や学校等の協力による府独自事業として取り組む。②立ち直り支援体験活動が低調。→相談機関との連携方法の多様化を図り、体験活動の円滑な受入を促進する。)・新KYOのあけぼのプラン後期施策の目標達成(経済状況の急変もあり、取組が停滞→関係課へのヒアリングを実施し、取組の一層の強化を促す。)・審議会等委員の女性比率アップ(団体推薦、専門分野、任期の関係など短期間での委員変更は困難→任期切れの際、各部局への事前協議・ヒアリング等を徹底・強化)・出前語らい(新型インフルエンザの影響で集会が開催されにくい等、進捗が停滞→新たに小型チラシを作成し、府主催イベント等あらゆる機会を無駄にせず広報に努める。)
文 化 環 境 部	50	1	46	2	1	・幼稚園に対する経営診断指導(多忙な園通常業務の陰となり、一部の実施に留まっている。→園が取り組みやすい経営診断例を示すなど、取組を促進)
健 康 福 祉 部	38		32	5	1	・障害者の就労支援(障害者が安定して就労できるA型事業所への移行が進んでいない→障害者自立支援法廃止の動きを注視しつつ、移行を促進。)

平成21年度 運営目標の中間達成状況(10月末時点)

部 局 名	運営 目標数	進 捗 状 況				「C: 過半が未着手・遅滞」の状況にある運営目標とその要因・対応等
		A	B	B'	C	
		目標達成	順調に進捗	概ね順調(一部未着手・遅滞あり)	過半が未着手・遅滞	
商工労働観光部	56		47	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街・小売り商業の振興(3市5エリアの中心市街地活性化基本計画策定を支援→福知山市で計画内容の見直しが行われており、今後、連絡会議等でフォロー) ・京都モデル子育て応援中小企業の認証促進(経済状況の急変もあり、中小企業の取組停滞→事例集等を活用し具体的にアドバイス。助成金等の情報提供により取組意欲を喚起) ・アジア等海外からの教育旅行を誘致(新型インフルエンザの影響によるキャンセルや受入拒否のため停滞→国内エージェントへの働き掛け・海外でのセミナーの実施による誘致強化) ・ジェトロ外国企業誘致地域支援事業を活用した外国企業の誘致(外国企業が世界的不況で停滞→ドイツからの医療関係企業を招致し、京都企業とのマッチングを行うなど誘致強化) ・中北部地域等への企業誘致(景況を反映して投資手控えが続いている状況→企業訪問にさらに力を入れ、企業ニーズの把握・誘致に努める。)
農 林 水 産 部	101	12	73	12	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都肉」のブランド力強化・キャッチフレーズによるPR活動(団体・事業者調整に時間を要している。→専門家の助言等も得て、関係者が一体となって取り組める効果的なPR方法で実施) ・野生鳥獣対策(被害が深刻な10市町は被害防止計画を過年度に作成済。今年度は被害が比較的少ない南部地域市町村を支援→未進捗市町村に意義・交付税措置等のメリットを説明し作成促進。) ・防災力を高める必要があるため池のある集落で安全マップ作成(地元市町村との合意形成に時間を要している。→市町村説明会を開催し、対象ため池を協議・選定し集落に事業説明) ・農産加工品の支援(京ブランド産品「京マーク」を農産加工品に拡大する使用許諾要領策定等に時間を要したため。→切り干し大根等の品目許諾に向け産地や加工業者と協議を行う。)
建 設 交 通 部	108	5	99	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・KTRの利用者増(高速道路の休日ETC割引、景気低迷、新型インフル、天候不順等が影響し、利用者低迷→土産店等の割引クーポン付きパンフ配布を府道路公社と実施する等、利用者増に取り組む) ・KTRサポーターズ会員・トレインオーナーの獲得(入会特典のメリット感が薄いことに加え、景気低迷の影響で伸び悩んでいる状況→会員特典の充実などメリット感を増やす取組等を強化) ・景観資産登録・景観アドバイザー派遣(意欲的な団体へのサポートが不足→特に景観形成等に取り組むNPO団体等にターゲットを絞り、制度周知・登録の呼び掛け等、個別・具体的な働きかけを行う。)
教 育 委 員 会	25	6	18	1		
警 察 本 部	21		21			

平成21年度 運営目標の中間達成状況(10月末時点)

部 局 名	運営 目標数	進 捗 状 況				「C: 過半が未着手・遅滞」の状況にある運営目標とその要因・対応等
		A	B	B'	C	
		目標達成	順調に進捗	概ね順調(一部未着手・遅滞あり)	過半が未着手・遅滞	
山城広域振興局	67	6	50	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・農の担い手対策(農地と人を結びつけるため、広域的・大規模な農地を対象に農地活用希望者の調査を行ったが、具体的情報がない状況→小規模農地に拡大し情報収集等を実施) ・総合的な喫煙対策(新型インフル対応に業務シフトした影響による進捗遅れ→禁煙希望者への保健所での禁煙指導、特定保健指導従事者への禁煙指導研修会等の実施に早急に取り組む。) ・地域医療連携の推進(新型インフル対応に業務シフトした影響による進捗遅れ→地域保健医療協議会の開催や大腿骨頸部骨折の地域連携クリティカルパスの運用開始等に早急に取り組む。)
南丹広域振興局	23		16	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・南丹地域景観創造事業の推進(日本風景街道の推進については、4市町からの相談に適切に応じ、すみやかな登録に向け、助言等していく。また、大野ダムと虹の湖を中心とした周辺地区の景観資産登録に向け、関係団体に働きかけていく。)
中丹広域振興局	41	1	35	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・京都舞鶴港における和田ふ頭(仮称)の整備と貿易振興(本年3月に韓国航路が復活したものの経済不況により既存荷主の物量も減少。また、電力需要減少による石炭輸入の減、ロシア関税引上による原木輸入及び中古車輸出が減少→トライアル利用補助金を活用(新規荷主15社)し、港湾事業者と連携しながら重点的な企業訪問を展開したい。)
丹後広域振興局	57	4	45	8		
合 計	759	40	626	65	28	